

NPO 法人玉川まちづくりハウス 2023 年度活動報告

(2022 年 10 月～2023 年 9 月)

〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 TEL:03-3721-8699 FAX:03-3721-8986
http://www.tamamati.com E-mail:house@tamamati.com

2023 年度トピックス

「タマデン Marche」の継続と広がり



街角保健室プロジェクト



九品仏アートフェスタ再開
ギャラリートーク



コミュニティ政策学会



世田谷まちづくりファンド 30 周年記念
「まちづくり DAY」参加



2023 年度トピックス

タマデン Marche の継続

タマデンマルシェは、「コミュニティ」、「サステナブル」、「グローバル」の3つの柱を掲げコミュニティの入り口としての役割を拡大しています。出店者も増え事務局体制も整いはじめ、この地域の中心としてなくてはならない『場』として定着しつつあります。

街角保健室プロジェクトがスタート

街角保健室プロジェクトは、2023 年度の独立行政法人福祉医療機構 (WAM) の助成を獲得することができました。「九品仏あんしんすこやかセンター」、「ふくろうクリニック自由が丘」、レジリエンススポーツの「(一社)輝水会」、「オフィス侑」と「玉川まちづくりハウス」の5団体で実行委員会を構成し、5月のキックオフシンポジウム「街角保健室を始めます!」に続いて10月22日に「地域共生街角祭り」を開催しました。それぞれの活動が次第に有機的なつながりを見せ始めています。この地域ならではの街角保健室の常設化を目指していきたいと思えます。

九品仏アートフェスタを再開

昨年度からポストコロナの九品仏アートフェスタの再生を模索し始めました。素晴らしい参道空間での年一回のイベントから九品仏商店街に染みこんでいくようなスタイルのアートフェスタへの転換です。まずはトバリエギャラリーを舞台としたギャラリートークを開催しました。飯野博昭さんによる「チベット仏画とわたし」、宮本寿恵子さんによる「荒野のトランペット」、宮林静枝さんによる「けんじの世界」です。少人数の会ですが創作の現場を感じることでできる貴重な機会となっています。

コミュニティ政策学会大会に参加

2023 年 7 月に東京都市大学世田谷キャンパスでコミュニティ政策学会第 22 回大会が開催されました。全体テーマは「世田谷から考えるコミュニティ政策の可能性～自律分散する住民まちづくり～」でした。世田谷で生まれつつある新しい市民活動の潮流に対して玉川まちづくりハウスの活動をどう位置付けていくのかを考える手がかりとして、コミュニティ・デモクラシーの実態を可視化することを目的とした「コミュニティを編む」研究プロジェクトをポスターセッションで発表しました。

公益信託世田谷まちづくりファンド 30 周年記念

「まちづくり DAY」参加

公益信託世田谷まちづくりファンド 30 周年を機に開催する『まちづくり DAY』11/20-12/3 の 2 週間に、16 の企画を通じて、区内各所でさまざまなイベントや活動が行われました。

玉川まちづくりハウスはこのうち 4 つの企画に関わりました。

2024 年 1 月 31 日から 三軒茶屋の生活工房ギャラリー・ワークショップルーム B (三軒茶屋駅・キャロットタワー 3 階、4 階) にてファンドの歴史を見渡す「世田谷まちづくり展」が開催される予定です。

地域協働事業

お手伝い事業 2p～

- ①玉川田園調布住環境協議会
- ②地域の福祉を考える楽多の会
- ③おひさま食堂支援
- ④読書空間みかも
- ⑤安全・安心まちづくり
- ⑥ねこじゃらし公園
- ⑦宮本三郎記念美術館と地域の会
- ⑧九品仏地区社会福祉協議会

ハウス企画ネットワーク事業 3p～

- ①子育て支援活動
- ②タマデン Marche の継続と広がり
- ③街角保健室プロジェクト
- ④九品仏アートフェスタ再開
- ⑤コミュニティ政策学会に参加
- ⑥公益信託
世田谷まちづくりファンド 30 周年記念
「まちづくりDAY」参加
- ⑦いつまでも安心して暮らせる
地域づくり事業
 - ・お隣さまお茶会
 - ・ここからカフェ九品仏
 - ・玉田シニアサロン

情報発信事業 9p～

- ①ハウスニュース
- ②ホームページ
- ③冊子

地域協働事業—世田谷区玉川地域を対象に活動しています

お手伝い事業

それぞれの活動が発足するときの支援活動を行いました。その活動を担う人材が別に現れて活動資金も別に調達し独立していくことが、ハウスの活動の特徴です。現在は事務局作業を支援しています。

①玉川田園調布住環境協議会・・・事務局担当

新型コロナウイルス感染症への対応のため、2020年から3年間、開催を見送ってきた総会を、4年ぶり2023年7月30日10時～、玉川田園調布会館において開催いたしました。当日、世話役29名のうち8名、委任状10名、その他参加者2名、計20名の参加で会議の成立を確認した後、議事に進みました。協議会会長林泰義が病気のため退任し、副会長伊藤雅春に交代いたしました。

協議会は、建て主、設計者、施工業者と案件ごとに協議し、近隣とのトラブル、住環境の悪化を防ぐことを主な活動としています。2000年度～2023年度の20余年に、区域内で196件。年平均7～9件程度の新築計画がありました。例年戸建て住宅が多いのですが、その他、集合住宅、葬祭場、コインパーキングについての相談、緑化計画への相談なども届け出がありました。

コインパーキング建設については玉川田園調布1丁目Bブロックで下記のブロックルールが採択されました。

Bブロック内の宅地にコインパーキングを設置することは認めない。ただし環八沿道の宅地については設置を認めるが、パーキング面積の15%以上の面積の緑化を宅地所有者は行うこととする

2000年に交付された「玉川田園調布1,2丁目地区計画」とともに制定した「玉川田園調布地区協定」について再び議論する時期に来ているのではないかという提案も出てきています。

②地域の福祉を考える楽多の会・・・事務局担当

毎月発行のらくだ通信の編集と発行を引き受け、コロナ禍でも元気に暮らす会員のみなさんの様子をお届けしています。

20周年の記録は今年度も持ち越しになりました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、主な会場であるデイ・ホーム玉川田園調布1階での体操や、麻雀の活動も再開し、活動自体は変わらず継続しています。しかし、高齢者施設での罹患は後を絶たず、コロナ禍前のような活気は戻っていないと言わざるを得ません。次年度こそ、会員のみなさんで「お出かけランチ」に出かけられるよう願います。

③おひさましょくどう支援

2022年6月～2023年7月、第4日曜日に「おひさましょくどう」の顔なじみや、新しいつながりも生まれ、支援しがいのある活動でした。

2023年9月、さらに大きく発展し、玉川まちづくりハウスが定例会議等でお世話になっているスペースえんがわ inn で「カフェおひさま日和」として活動することになり、玉川まちづくりハウス事務局隣から卒業しました。

2024年度「おひさま日和」は「街角保健室」の拠点として、ハウスと協働して活動していきます。(P6参照) 生き活きとした近隣関係を育て、地域に豊かな住環境を創造すること、一人でも多くの人が地域に個人の時間を投資したくなる多様な『場（コミュニティへの入り口）』を生み出すことにつなげようと思っています。

④読書空間みかも・・・ハウスとの情報交換

玉川まちづくりハウスが世田谷トラストまちづくりの事業「地域共生のいえ」の一つとして運営を支援してきた「読書空間みかも」。コロナ禍で毎週木曜日開催していた運営はとぎれとぎれになりましたが、好評の一箱古本市は新しいメンバーも加えて、継続的に開催されています。

2017年に玉川まちづくりハウスが作成した 地域の魅

力発見マガジン No.6『みかも本』が有効活用されています。新年度の活動を注目します。

Twitter

【読書空間みかも】@dokusyo_mikamo

【読書空間みかもイベント】@mikamoyotei

⑤安全・安心まちづくり（防犯パトロール）

●玉川田園調布防犯パトロール隊・・・事務局担当

安全安心まちづくりニュースの表紙で連載している会員紹介記事が今年度 128 組となりました。玉川田園調布町会の回覧板に同封されていますが、意外に読まれているようです。

まちで、お会いした人には必ずと言っていいほど執筆をお願いしています。何かの時にはきっと役に立つと信じて、全員とは言いませんが町会員世帯の半分くらいまで、続けていきたいと思えます。

⑥ねこじゃらし公園・・・活動参加

ワークショップ形式でデザインされた公園として日本でも先駆けのねこじゃらし公園。29年を経た今もグループねこじゃらしにより管理と清掃が続けられていますが、市民活動にはおきまりの「次世代にどう継続するか」が課題です。

今夏の暑さは樹々にとっても、公園の虫や花にとっても経験したことのないものだったようです。蛙の鳴き声がめっきり少なくなりました。



(C) 宮本和義

⑦『宮本三郎記念美術館と地域の会』・・・活動参加

今年度もコロナ禍の影響でいちども開催されませんでした。

多彩なゲストをお招きして話していただく、この地域ならではの「人ひろば」再開できるよう祈念いたします。

⑧九品仏地区社会福祉協議会 マップ事業

●安心安全マップ／お出かけ支援マップづくりの支援

九品仏地区社会福祉協議会マップ委員会作成のマップ作り。今年度は改定作業は行いませんでしたが、地区の防災イベント等で活用されています。保育施設、コンビニ、情報は日々変わります。更新作業の重要性を痛感しています。



ハウス企画ネットワーク事業

まちづくりに関する住民活動のネットワークを形成、支援する事業

①子育て支援活動

●2拠点で活動を続けています

奥沢7丁目のねこじゃらし公園と奥沢1丁目の奥沢公園におもちゃを持ち込んであそびの基地を作り、子どもの外遊びを推進する「世田谷区自然体験遊び場づくり事業」を行っています。

今年度もコロナ禍、その上経験したことのない猛暑で、7月8月は、「かえって熱中症になるのでは」という懸念から活動を中止しました。夏の過ごし方には、単に外遊びが重要というだけではない工夫が必要な時代になっていくのではと考えています。

新しいスタッフの方も迎えることが出来ました。夏の過ごし方も含め、子どもたちが外で遊ぶことの重要性を伝えていきたいと思えます。



2023年度助成金 440,336円

■ねこじゃらし公園

東京都世田谷区奥沢 7-46-5

■タイヤ公園（奥沢公園）

東京都世田谷区奥沢 1-19-2

②タマデン Marche の継続と広がり 月1回 2023年8月は猛暑のため中止

2004年から毎年、デイ・ホーム玉川田園調布で開催してきた「玉川まちフェスタ」が新型コロナウイルス感染症のため開催を断念せざるを得なくなって、2019年から形を変え、渋谷から田園調布へのバス通り沿いで、ほぼ毎月「タマデン marche」として開催する形になったことは、これまでも報告してきました。

あっという間の4年でした。今年度はさらに関わる人も増え、近隣の方が育てる AINONEFARM の人参、かぼちゃ、ナスなど新鮮な野菜や、燻製オリーブオイルなどが並び、夏の間は子どもたち向けに魚釣りゲームや、団扇のマーブルリングコーナーを企画し、さらにタロット占いも人気など「街の賑わい」を「作り出しています。まさに「コミュニティの入り口」、ハウスとして今年度も継続する独立行政法人福祉医療機構助成事業「街角保健室プロジェクト」の活動の一つとしてもその役割を大きなものにしていきます。

人と人とが直接声を掛け合って触れ合うことのできる場として Marche を大切に育てていきます。



Marche 風景 (木村圭子さん画)



スタッフが野菜を扱ってくれるようになり、近隣の方が運営する AINONEFARM とつながって、色とりどりの野菜が並びます。



53(ゴミ)になる前に
52(ごじゆうに)どうぞ
(free コーナー)
地域の資源循環の取り組み
やっています



丸品仏社会福祉協議会の
「食で応援プロジェクト」
賞味期限前の食品などを
社協に相談に来る方にお渡しする
プロジェクトに協力しています。



夏「うちわのマーブルリング」「魚釣りゲーム」「草や花のたたき染め」などの子供向け企画を実施。子どもも大人も楽しんでくれたようです。



③街角保健室プロジェクト

2023年4月、玉川まちづくりハウスは地域の団体とネットワークを組み、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉 振興助成事業からの助成を受けることになりました。

「九品仏地区の多様な活動団体による街角保健室ネットワークの構築」

各団体が行っている活動を横断的につなげることで、地域住民に対する幅広い入り口と多彩なサービス（サロン、マルシェ、だれでも食堂、スポーツ療法、終活、制度的対応、医療的対応等々）を提供することを目標にしています。

毎月、毎週、まちのどこかで人が集い、暮らしの心配事を聞いてもらえる場所のあるまちを育てていきましょう！

「街角保健室」プロジェクト実行委員会

- ・九品仏あんしんすこやかセンター
- ・ふくろうクリニック自由が丘（地域医療）
- ・一般社団法人輝水会（レジリエンス・スポーツ）
- ・オフィス侑（ファイナンシャルプランナー）
- ・玉川まちづくりハウス（コミュニティデザイン）



4月 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成金を受領決定

5月 街角保健室はじめます キックオフシンポジウム開催 5月28日

6月 各団体との活動交流を始める

玉田シニアサロン、輝水会ポッチャ、ふくろうクリニック暮らしの保健室医療セミナー

9月 玉川まちづくりハウスお隣さまお茶会、おひさま食堂、おひさま日和

10月 地域共生街角祭り開催

5月28日(日)14時キックオフシンポジウムを開催。

実行委員会メンバーのふくろうクリニック自由が丘から山口潔先生に登壇いただき「地域資源を生かした社会的処方」というタイトルでお話いただきました。

「社会的処方」とは「薬を処方することで、患者さんの問題を解決するのではなく『地域とのつながり』を処方することで、問題を解決するというものです。

山口先生のお話からも ・店が近くにあると健康になる ・人とのつながりがあると長生きする ・スポーツ団体に参加すると（からだを動かさなくても）要介護者になりにくい ・同居者がいるのに孤食の高齢者は高リスク…などの事例が、わかりやすく伝えられ、また実際に二子玉川や自由が丘で開催している「暮らしの保健室」また尾山台タタタハウスの取り組みも紹介され「なるほど！」という思いでした。

●6月から 各団体との交流を進めています。

公式ラインアカウントを取得。情報がいきわたるよう努力を始めています。



キックオフシンポジウムの様子



ふくろうクリニック医療セミナー 毎月開催されています。

6月玉田シニアサロン街角保健室を考えよう地域の脳卒中片麻痺当事者の会の活動を伺いました。



街角保健室 イベント一覧					
日付	時間	名称	問い合わせ	申込	場所・参加費
第1.3開催日	14:00-16:00	ほつらつお茶会	あんしんすこやかセンター	必要	九品仏あんしんすこやかセンター
第2開催日	10:00-11:30	丸餅のマルシェ	090-4516-5427(事務局)	必要	九品仏地区自治会地下多目的室 300円
第3開催日	14:00-14:40	輝水会ポッチャ	090-4516-5427(事務局)	必要	オンライン開催
第1.2開催日	13:30-15:30	医療セミナー	03-3721-8499(ふくろうクリニック)	必要	ふくろうクリニック 500円
第2.4開催日	10:30-11:30	ふくろうクリニック	03-3721-8499(事務局)	必要	九品仏地区自治会地下多目的室 300円
第4.5開催日	13:30-15:30	こころのマルシェ	090-3961-8514(事務局)	必要	九品仏地区自治会地下多目的室 300円
第4.2開催日	14:00-15:00	暮らしの保健室	03-3791-3391 (ふくろうクリニック事務局)	必要	ふくろうクリニック 500円
第4.3開催日	15:00-16:00	マルシェ	03-3721-8499 (ふくろうクリニック事務局)	必要	ふくろうクリニック 500円
第4.4開催日	15:30-16:30	お茶会	03-3791-3391 (ふくろうクリニック事務局)	必要	ふくろうクリニック 500円
第2.3開催日	14:00-14:40	お茶会	03-3721-8499 (ふくろうクリニック事務局)	必要	ふくろうクリニック 500円

●「おひさま日和@スペースえんがわ inn」で人が集う場所、居場所としての街角保健室活動を実験的に始めました。

玉川まちづくりハウスが支援してきた、おひさましょくどうは、おひさま日和へと発展し、スペースえんがわ inn で営業を始めています。

2023 年度末、9 月からになりましたが、おひさま日和、スペースえんがわ inn の協力を得て、営業日にお店の一角をお借りして、居場所としての「街角保健室」を実験的に始めました。

まずは月 1 回、第 3 水曜日を目指しています。水曜日はタマデン Marche で知り合った AINONEFARM(アイノネファーム)のお野菜も並びます。

「毎月、毎週、まちのどこかで人が集い、暮らしの心配事を聞いてもらえる場所のあるまちを育てていきましょう！」という目標に次年度も取り組んでいきます。



街角保健室の様子



AINONEFARM のお野菜

④九品仏アートフェスタ再開

ようやくコロナも治まり、2019 年から 3 年間、開催を見合わせてきた九品仏アートフェスタを再開してはどうかとの声も上がり、新たなスタートを迎えようとしています。

九品仏商店街の中にある TOBARIER Gallery(トバリエ ギャラリー)で、アート哲学カフェを開くことができれば素敵ではないかという思いつきを戸張さんが受け入れてくださって、「ギャラリートーク」を開催しました。このような集まりを継続しながら九品仏アートフェスタの今後の可能性について検討し、意見交換できればと考えています。



4月9日(日)

チベット仏画師の飯野博昭さんの個展で、～作家は語る「チベット仏画とわたし」～というタイトルで実施しました。

世界中をバックパッカーとしてめぐっていた飯野さんがチベット仏画と出会った経緯、使う絵の具のこと、タンカ(チベット仏教の仏画の掛軸の総称)の約束事などのお話を、伺いました。

6月18日(日)

西六郷で「人形芝居小屋銀ジャリ 262」「ギャラリーダダ」をオープンし地域に根差したアートを追及している宮本寿恵子さんのおはなし。好きなものを追及し描き続ける強さのようなものを感じました。

会場が広くはないこともあり、これまでの九品仏アートフェスタの関係者を中心に 10 名ほどの参加者、ワインを囲み、贅沢な時間を楽しむことができました。



2023 年度年間スケジュール

*そのほか玉川まちづくりハウス定例

2022 10	11	12	2023 1	2	3
お隣さまお茶会 vol.82 10/17	お隣さまお茶会 vol.83 11/14	お隣さまお茶会 vol.84 12/12	お隣さまお茶会 vol.85 1/16	お隣さまお茶会 vol.86 2/13	お隣さまお茶会 vol.87 3/13
プレーリヤカー ねこじゃらし 10/18	プレーリヤカー ねこじゃらし 11/15	プレーリヤカー ねこじゃらし 12/6,13	プレーリヤカー ねこじゃらし 1/17	プレーリヤカー ねこじゃらし 2/14	プレーリヤカー ねこじゃらし 3/22
プレーリヤカー タイヤ公園 10/18	プレーリヤカー タイヤ公園 11/15	プレーリヤカー タイヤ公園 12/19	プレーリヤカー タイヤ公園 1/17	プレーリヤカー タイヤ公園 2/14	
ここからカフェ vol.55 10/22	ここからカフェ vol.56 11/26	ここからカフェ vol.57 12/17	ここからカフェ vol.58 1/28	ここからカフェ vol.59 2/18	ここからカフェ vol.60 3/25
シニアサロン 10/9	シニアサロン 11/13	シニアサロン 12/11	シニアサロン 1/15	シニアサロン 2/12	シニアサロン 3/12
★タマデン Marche 10/29	★タマデン Marche 11/27	★ハウス総会 12/9			★タマデン Marche プチ 3/26
	まちづくり DAY 11/27	★タマデン Marche プチ 12/18			

⑤コミュニティ政策学会に参加



6月30日から3日間、コミュニティ政策学会の全国大会が世田谷、尾山台の東京都市大学にて開催されました。

コミュニティ政策学会は地域社会におけるすべての近隣組織や市民活動組織を育て、地域民主主義を発展させようと努力している人々の全国組織、玉川まちづくりハウスメンバーも、2002年の設立当初から関わっています。

都市デザイン室による参加型まちづくり、まちづくりファンドやプレーパークなど住民主体の活動の数々で、住民まちづくりの先進地の一つともいわれてきた世田谷区。2000年代以降は活動や体制の硬直化などから混沌とし、見えなくなっていたように思えますが、近年、それぞれの地域や分野でそれぞれに活動を生み出し、それが共感を呼んでいく「おやまちプロジェクト」をはじめとするさまざまな活動が生まれてきています。

⑥公益信託世田谷まちづくりファンド 30周年記念「まちづくりDAY」参加

公益信託世田谷まちづくりファンド30周年を機に開催する『まちづくりデイ』11/20-12/3の2週間に、16の企画を通じて、区内各所でさまざまなイベントや活動が行われました。

玉川まちづくりハウスはこのうち4つの企画に関わりました。

- ①ファンドの初期の頃の世田谷のまちづくりの映像記録を見る「世田谷のまちづくり動画まつり」。
- ②「世田谷のまちづくりを語る」というタイトルで行われたファンドの立ち上げと中期の運営を担った卯月盛夫氏と石塚正雄ハウス運営委員長伊藤雅春の鼎談。
- ③玉川まちづくりハウスと尾山台のタタタハウスで企画したミニシンポジウム「玉川地域のまちづくり30年で何が起きたのか」
- ④「まちづくりデイ」の締めくくりとして行われたシンポジウム。ファンドのこれからについて若いまちづくり活動者がパネリストとなり、保坂区長と語り合う企画。これには一参加者として参加いずれの企画も玉川まちづくりハウスの30年間を振り返り総括する上で貴重な機会となりました。

住みよい環境づくりにつながる区民主体のまちづくりを支援する「公益信託 世田谷まちづくりファンド」は、2022年、設立30周年を迎えます。この機会を「まちづくりデイ」と呼び、世田谷のまちに関わる方々、

11/20

玉川地域のまちづくり30年で何が起きたのか～コミュニティマネジメントのこれから

11/27(日) @タタタハウス

主催：伊藤雅春（世田谷区長）、卯月盛夫（元区長）、石塚正雄（元区長）、高野健二（元区長）

運営委員会、ニュースレターの発行、世田谷区の住宅相談、せたがや防災 NPO アクション運営会議などを毎月行っています。

4	5	6	7	8	9
お隣さまお茶会 vol.88 4/10	お隣さまお茶会 vol.89 5/8	お隣さまお茶会 vol.90 6/12	お隣さまお茶会 vol.91 7/10		お隣さまお茶会 vol.92 9/11
プレーリヤカー ねこじゃらし 4/18	プレーリヤカー ねこじゃらし 5/16	プレーリヤカー ねこじゃらし 6/20	プレーリヤカー ねこじゃらし 7/18		プレーリヤカー ねこじゃらし 9/19
プレーリヤカー タイヤ公園 4/12	プレーリヤカー タイヤ公園 5/10	プレーリヤカー タイヤ公園 6/14	プレーリヤカー タイヤ公園 7/12	ここからカフェ vol.65 8/26	プレーリヤカー タイヤ公園 9/13
ここからカフェ vol.61 4/15	ここからカフェ vol.62 5/27	ここからカフェ vol.63 6/24	ここからカフェ vol.64 7/22		ここからカフェ vol.66 9/30
シニアサロン 4/9	シニアサロン 5/14	シニアサロン 6/11	シニアサロン 7/9		シニアサロン 9/10
ギャラリートーク 4/9		ギャラリートーク 6/18			
★タマデン Marche 4/23	街角保健室 キックオフ 5/28	コミュニティ政策学会 6/30	★タマデン Marche 7/23		★タマデン Marche 9/24

⑦いつまでも安心して暮らせる地域づくり

NPO 法人玉川まちづくりハウスの活動の目的は …生き活きとした近隣関係を育てるとともに地域にふさわしい豊かな住環境を創造すること…。人々が自分の地域と呼べる場所を作り、そこでいつまでも安心して暮らせる地域とすることが目的です。思いのほか長くなったコロナ禍の暮らし。迷いながら小さな集まりを継続してきました。それぞれ月1回ですが、人と人が直に触れ合う場が大切と、さらに強く思います。

●『お隣さまお茶会』

住宅地の庭の緑に囲まれたカフェお借りしての小さな集まり。ほとんどが歩いて来られる方の参加、地域の民生委員、あんしんすこやかセンターからの紹介はじめスタッフが「気になる方々」に声をかけてくれます。

もしもの時に、ご近所で声を掛け合うことができる顔見知りができることは、スタッフにとっても心強いなど実感します。九品仏あんしんすこやかセンター職員も顔を出してくれます。

2014年からの長きにわたり、締めくくりに時間を毎回お願いしていた、認知症介護者のおしゃべり会主催の西澤恵さんによる認知症について最新情報の



コーナー、好評でしたが、2023年4月にいったん終了としました。しかし、アンコールの声が大きく9月、再開しました。

2月 ほめる達人の井上隆さんによる「ほめる門には福来たる」明快なお話しぶりに引き込まれ、ほめること、自分を認めることが大切だとあらためて気づきました。

●『ここからカフェ九品仏』

九品仏参道にある複合施設の2階フロアで開催している「ここからからだ」のカフェ。気づかぬまでも、心に不調を抱え、少し外出が億劫になっている方々のため始めましたが、コロナ禍、誰もが外出をためらうような状況になりました。

朗読や古典落語、防災の課題を知ったり、手話。手話ダンスを楽しんだり、多彩なプログラムで開催しています。



6月 古典落語
大いに笑いました。

7月 手話ダンス
聾の方に指文字を教えてくださいました。



2022

10月 第82回 美味しい紅茶の入れ方 19名

11月 第83回 小さなガラスビーズで
ペンダントヘッドを作りましょう 13名

12月 第84回 ヴァイオリンミニコンサート 30名

2023

1月 第85回 唄いましょう 17名

2月 第86回 ほめる門には福来たる 18名

3月 第87回 気功体験 18名

4月 第79回 朗読 23名

5月 第80回 花を楽しむ 17名

6月 第81回 心と体を動かす 11名

7月 第82回 和紙あそび 15名

9月 第83回 お茶のお点前 27名



9月 福井宗陽さんによる「お茶のお点前」
優雅な時間に参加のみなさんリラックスしました。



2022

10月 第55回 我が家の防災 21名

11月 第56回 朗読を楽しむ 18名

12月 第57回 音楽療法 21名

2023

1月 第58回 お手玉 15名

2月 第59回 ミニ川柳教室 8名

3月 第60回 命を考える セラピードッグ 15名

4月 第61回 春の養生法 28名

5月 第62回 バリアフリーを考えよう 17名

6月 第63回 古典落語 26名

7月 第64回 手話ダンス パブリカ 26名

8月 第65回 すばなしの会 12名

9月 第66回 男女共修家庭科教室 大豆 26名



1月 お手玉
運動神経と
脳のトレーニングに最適です。

●玉田シニアサロン

玉田シニアサロンは、毎回 10 数名の方が参加され、地域の熟議の場として定着してきました。男性高齢者の方の参加を謳っていましたが、テーマにより女性の方の参加も増えてきて、次第に口コミで広がっています。この地域でいくつかある熟議の場としては一番コミュニティから公共圏の問題を話し合う「コミュニティからの熟議の場」としての可能性を持っている場といえます。今年度は「街角保健室プロジェクト」に取り組んでいることもあり、玉田シニアサロンも玉川まちづくりハウスが提供する街角保健室の一つとして位置づけ取り組んできました。また、この「まち」そのものの過去や現在、将来をテーマにしたシビックヒストリーを共有する場にもしていきたいと思います。今後も、コミュニティの小さな熟議の渦の一つとして注力していきたいと思います。

10月 コミュニティの風景

11月 玉川田園調布まちづくり協定を考える

12月 リニア新幹線問題を考える Part2

2023年

1月 自分の半生

2月 私と現代アートの旅

3月 この街に来て考えたこと

4月 質問力 話し上手はここが違う

5月 民生委員のお仕事

6月 街角保健室を考えよう

7月 テレビ番組作りにかけた私の半生

9月 リニア新幹線問題最新情報



7月 テレビ番組にかけた私の半生
講師 西野肇さんを囲んで

情報発信事業

①ハウスニュース

毎月月末に会員向けニュース「みんなでホイッ！」を発行し、ハウスの活動を随時紹介しています。

2022年10月から「地域 gayagaya」のコーナー担当の奥沢地誌保存会 染野和夫さんの「奥沢地域（玉川田園調布も含む）の歴史を辿る」が好評で、まとめて読みたいという声をいただいています。

またファンの多かった竹内希衣子さんの「暮らしのメモ」も若い書き手を迎え「暮らしのつぶやき」として再スタートしました。



②ホームページ HP: <https://www.tamamati.com> Twitter: @tamamatihouse

ブログとツイッターで地域講座の日程などすぐにお知らせしたい情報を、リアルタイムでお伝えしています。イベントの詳細など随時掲載しています。ぜひ遊びにきてください。



③冊子

今年度も残念ながら、継続して作成していた「地域の魅力発見マガジン」作成は、コロナ禍で見送りました。

「暮らしのメモ」欄を書いてくださった竹内さんが体調を崩され、2021年末なくなられました。

竹内さんの「暮らしのメモ欄」をまとめて一冊の冊子とすることができました。

本の編集から出版については、中曽根デザイン・南剛さん、世田谷美術館の矢野進さん、そして当時、希衣子さんに、私には無謀と思える原稿の執筆を依頼してくれ、毎回毎回イラストを添えてくれたキノこと柴田希美絵さんにお世話になりました。心から御礼申し上げます。

玉川まちづくりハウスは現在、冊子販売事業を手がけていないためこの本は 1000 円を目安に寄付をいただいておりますという形をとらせていただいています。



NPO 連携事業 10p～

- ① 住まい・まちづくり相談
- ② せたがや防災 NPO アクション
- ③ 姉妹コミュニティ/住田町

NPO 連携事業

① 世田谷区住まいまちづくり相談

「住まいまちづくり住宅相談ネットワーク」は世田谷区の相談事業「住宅まちづくり総合相談」を担当する3つのNPO法人で作っている団体です。住まいの困った！をまちづくりに関わる建築士としてアドバイスしていくことを目的にしています。

世田谷区5支所と三軒茶屋の6カ所で月2回ずつ開催されています。

隣地間のトラブル、工事の際の業者との話し合いの進め方、また予め知っておいた方がいいことはなにか？についての相談が多く見受けられます。

② せたがや防災 NPO アクション

- ・ 2022年10月22日 ここからカフェ丸品仏にて 講師宮崎勤氏

「我が家の防災 首都直下地震の被害想定と在宅避難」

建物の耐震化・不燃化・ライフラインはここ10年の見直しにより、減災効果は出ているが、消防団員の減少、東日本大震災から時がたち、防災意識への低下が見られるとの話にあらためて防災の備えについて考える時間となりました。



▲トイレの凝固剤実演

- ・ 2022年11月5日 AED(Action emergency drill) 防災訓練

「たまでんカフェ山下」にて ～防災訓練 初動対応マニュアルの共有と検証～世田谷区で発災した時の対応、発災後の地区での情報収集とNPOのネットワークを活用した訓練を実施。

- ・ 2023年2月15日 勉強会

講師：李 仁鉄さん：にいがた災害ボランティアネットワーク理事

災害VCとNPOの連携支援について、避難所や生活再建に向けて起こる困りごとの支援、被災生活の支援全般という中～長距離走の部分についてお話を伺いました。

- ・ 2023年7月25日 外部NPO勉強会

講師：浦野 愛さん 認定NPO法人レスキューストックヤード

災害で非日常になってしまった際の、地域での避難生活についての具体的な話を聞くことができ、支援するということの参考になりました。

- ・ 2023年9月1日 世田谷区シェイクアウト訓練参加

9月1日で関東大震災から100年の節目に当たり今年9月1日にシェイクアウト訓練を実施。

③ 姉妹コミュニティ

長く玉川まちフェスタ、ハウスニュース等で連携してきた岩手県住田町とは、コロナ禍でもあり今年度も関わることができませんでした。来年度はタマデン Marcheで関わり合いを持った、またこれから持つだろう地域との連携協力を考えていきます。

専門性提供事業 10p

① 大久手計画工房との協働事業

専門性提供事業

① 大久手計画工房との協働事業

● 板橋区補助第26号線と沿道一体まちづくり相談窓口支援業務

大久手計画工房との協働プロジェクトとして2015年から取り組んでいる「補助第26号線と沿道まちづくり相談窓口開設支援業務」は今年度で7年目を迎えています。毎月一度地区内の空き家空き地の現状を地図に落とし込んでいるのですが、まちを隅々まで歩きまちの新陳代謝のようなものを肌で感じています。玉川田園調布住環境協議会の活動に近い部分もありますが、コミュニティとの関わりがないところが全く違うところでは。



板橋区大山の26号線沿道

■ NPO法人玉川まちづくりハウス
運営委員長 伊藤雅春
運営委員 林泰義 平松陽一
監事 杉浦 宏嗣 戸張郁子
事務局スタッフ 小西玲子(運営委員)
月成麻未 昆野敬子 柴田希美絵
製作 2023年12月1日